

# よくある質問Q & A



## どのように声を掛ければいいのでしょうか？

「おはよう」「こんにちは」のようなあいさつは、大人も声を掛けやすく子どもも返しやすいものです。まずは近所の子もたちと顔見知りになる気軽なあいさつから始めましょう。他には、良い行いをほめる、頑張っている姿を励ますなど、日常生活の中で、できる範囲で無理のない声掛けを行ってください。

## 集団でいる高校生などにはなかなか声を掛けられません。こんなときも声を掛けなければいけませんか？

危険を感じるような場合まで、声掛けをしていただく必要はありません。この運動は、無理のない範囲で、できることをお願いしているものです。少年の喫煙等の不良行為や非行を発見した場合は、最寄の交番や警察署に通報してください。



## この運動は補導活動なのでしょうか？

補導活動ではありません。声掛け運動は、日常生活の中で大人が青少年に対して声を掛け、積極的にかかわることにより、その健やかな成長を支援していこうという運動です。（補導とは、体制を組んで特定の区域を巡回し、いわゆる非行少年、不良行為少年等に対して、その行為を改めさせ、善導することを目的に行うものです。）

## 学校や警察では、「知らない人に声を掛けられてもついて行かないように」と指導していますが大丈夫でしょうか？

ご指摘のような不審者による「声掛け事案」と「地域の青少年声掛け運動」とは明確に区別されています。声掛け運動のつもりで声掛けをしても、最初は子どもも戸惑うかもしれません。その場合は、「私を警戒できてえらい子だな」と大人の広い心で見えてあげてください。急に深くかかわらなくてもいいのです。繰り返すことで子どもたちとの距離も少しずつ縮まってきます。まずは近所の子もたちへのあいさつから始め、顔見知りになりましょう。



## 研修会等への参加や報告書の提出などがありますか？

この運動は、県民総ぐるみの運動となるよう推進していますので、このような義務はありません。